



# 創る

卒業までのカウントダウン  
共に過ごせる日々もわずかに

令和 8 年  
3 月 2 日 (第 2 2 号)  
学校長 村松 章史



## 公立高校入試直前

卒業までは、あと 9 日

山梨県の公立高校入試（後期入試）が 3 月 4 日に行われます。

「受検は団体戦」という言葉がよく使われます。3 年生の進路希望は様々ですが、互いに切磋琢磨し、進路実現に臨む雰囲気高め、声援を送り合ってきました。すでに前期入試や私立高校等の入試を終えた生徒も含め、3 月 4 日は全員で立ち向

かいます。お天気がやや心配になりますが、無事に始まり、終わることを願うばかりです。心と体の調子を整え、自分の努力を信じ、同じ時間帯に同じ問題に取り組んでいる仲間と共に、学んだ力を出し切ってきてほしいと思います。

## 言葉、文字にのせる想い

### 美術 卒業制作



黙々と一文字に向き合う 3 年生。これらは美術の授業で行っている卒業制作に取り組む様子です。自分の夢や希望、気持ちを表す漢字一文字を決め刻んでいます。黙々と取り組む姿からは、受検という生まれて初めての大きな不安に立ち向かう強さも感じられます。一人ひとりが刻む文字に違いはあっても、その文字に託したのは希望や願い、そして自分自身であるという点で共通しているのではないかと思います。これは、校歌の歌詞

にある「誇り」「望み」「願い」と同じです。3 年間にわたり歌い続けてきた校歌とも別れる瞬間が近づいていますが、卒業式には特別な思いを持って歌ってくれることを心から願います。

世界では争いが絶えず、先週末にも、武力による攻撃や破壊が正当化されるような出来事が起きています。国や文化、考え方などに違いはあっても、その違いを認め、どうしたら平和に生きていけるのか、言葉や対話を通じて考えることはできないのでしょうか。生徒

たちは高校生活をはじめとする新たな世界を歩き始めます。生徒たちには、自分の言葉で「未来」や「希望」を語ってもらいたいですし、温かく伝わる言葉を使える人になってもらいたいと思います。そんなことを考えながら、生徒たちの入試での検討を願っているところです。



司先生 おめでとうございます！

